

旭丘中学校（D組）

校長 さかもと つかさ 坂本 司

副校長 なかしま ひろと 中島 裕人

所在地 旭丘 2 - 4 0 - 1

学級数・在籍生徒数（令和 7 年 4 月現在）

学級数	生徒数	1 年	2 年	3 年	計
4	男	5	9	1	1 5
	女	2	7	2	1 1
	計	7	1 6	3	2 6

学級紹介

1 旭丘中学校での学び

特別支援学級の教育課程は、特別支援学校学習指導要領および小・中学校学習指導要領に準じて行うことになっており、一律の教育内容が決まっているわけではありません。そして、その編成については、校長を中心に担当者が話し合い、全教職員の協力・了承を得るものとなっています。

旭丘中学校では、生徒一人一人の障害の程度や学力の実態に応じて、生徒・保護者のニーズや社会の要請を加えながら、適した教育課程を編成しています。

今年度も、基礎基本の定着を重視しながら、学級の状況、生徒の状況に応じて、柔軟に対応していきたいと考えています。今年度は新 1 年生が 7 名入学し、生徒数 2 6 名、4 学級編成（担任 6 名、非常勤教員 1 名、学校生活支援員 2 名）となりました。旭丘中学校では、一斉授業だけでなく、グループ別、学年別での授業も実施します。

2 特色のある授業

一斉授業は、社会、理科、英語、音楽、美術、保健体育、作業、家庭、生活単元学習、日常生活の指導で実施し、集団生活を意識しています。

グループ別授業は、国語・数学で、習熟度別にグループに分けて指導を行います。少人数（5～6 人）の落ち着いた学習環境の中で、きめ細やかな学習指導ができるようにしています。「特別の教科道徳」でも、通常は学級全体で実施しますが、題材によって学年別で行うこともあります。

総合的な学習の時間においては、行事に向けて一人一人の課題に応じた活動を行います。校内での発表会や練馬区立中学校特別支援学級設置校八校合同文化発表会などでその成果を発表します。また、国語の古典の学習として、百人一首の学習を行い、例年、青少年育成桜台地区委員会主催のかかるた会に参加しています。

3 さまざまな交流活動

日頃から通常の学級との関わりを進めています。具体的な交流の場として、運動会、修学旅行、合唱コンクール、文化発表会、その他学年ごとの行事での交流などがあります。お互いの理解を深め、生き生きと明るく生活するために、協力し合うことが大切であることを学んでいます。

また、練馬区小中一貫教育実践校として、連携する旭丘小学校の特別支援学級（あさひ学級）をはじめとした近隣小学校の特別支援学級との交流も積極的に進めています。

昨年度のあさひ学級と実施した小中合同歩行学習では、小中合同の班編成で 3 グループに分かれ、中野区立江古田の森公園へ行きました。当日は、交通ルールを意識して江古田の森公園へ向かいました。到着後は、ドッジビーを通して交流し、中学生が率先して小学生をリードする姿が見られました。例年、小学生は中学生への憧れや、目標をもち、中学生は自己有用感を高める機会となっています。



中村中学校（F組）

校長 ^{いのうえ} 井上 ^{はるよし} 春好

副校長 ^{とのづか} 殿塚 ^{としえ} 利江

所在地 中村南1-32-21

●学級数・在籍生徒数（令和7年4月 現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
3	男	5	3	3	11
	女	3	2	4	9
	計	8	5	7	20

～社会性を身に付け自立した生活を目指す～



◎ マナー（挨拶や身なり）、規則正しい生活習慣・道徳心等、社会生活を考え、指導しています。

◎ 国語・数学は、課題別にグループ学習を行っています。

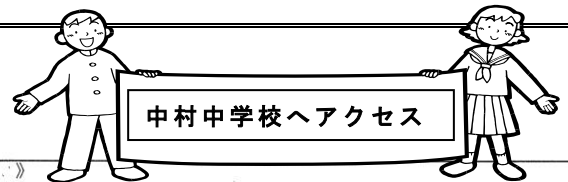
◎美術・音楽・家庭科では専門の講師を配置し、教員の専門性を生かしたカリキュラムを組み立てていますので、生徒が授業に興味をもち、楽しみながら学習を進め、学習目標に取り組むことができます。生徒一人一人に合わせ、社会生活に必要な内容を盛り込み学習を進めています。

＜交流活動の推進＞

◎運動会・合唱コンクール・学習発表会は、通常の学級に入って活動をしています。

◎F組の生徒一人一人に交流学級を定めています（共生社会を目指して）

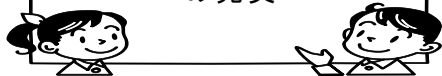
日常生活では、この交流学級での給食を行っています（交流給食）。



《交通機関》

○西武池袋線	中村橋駅から 徒歩 15分	荻窪駅 行	中村南3丁目	下車 5分
関東バス	(荻06・荻07)	阿佐谷駅行	中村南3丁目	下車 5分
関東バス	(阿01)			
○西武池袋線・東京メトロ有楽町線・都営大江戸線	練馬駅から 徒歩 20分	荻窪駅 行	中村南3丁目	下車 5分
関東バス	(荻07)		南蔵院	下車 7分
京王帝都バス	(中92)	中野駅 行		
○西武新宿線	都立家政駅から 徒歩 8分			
鷺宮駅から 徒歩 15分				
○J.R中央線	阿佐谷駅より	関東バス (阿01)	中村橋駅 行	中村南3丁目 下車 5分
荻窪駅より	関東バス (荻06)	中村橋駅 行	中村南3丁目	下車 5分
	関東バス (荻07)	練馬駅 行	中村南3丁目	下車 5分

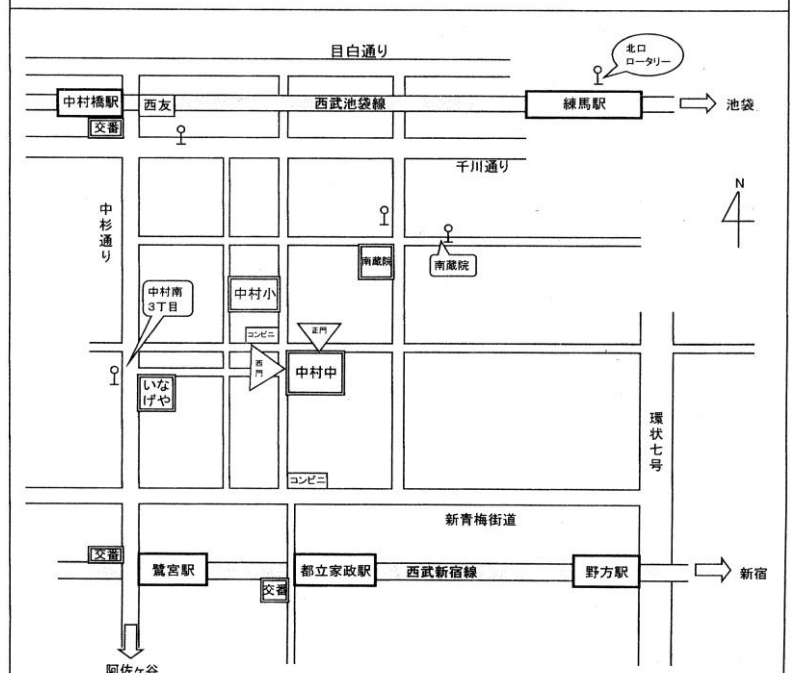
学校・保護者・地域連携の充実



◎学校行事や保護者会等を利用して、生徒の現状や進路について、話を進めています。また、進路選択が多様化していますので、情報収集と十分な話し合いが行えるように工夫しています。

◎地域との関係を深めるために、学校公開をはじめ、地域の方々と共に活動する場面を設定しています。（職場体験・避難拠点訓練・もちつき等）

◎保護者と学校間では、各生徒の様子が日々分かるように、日課帳を通じて情報交換を行っています。



練馬中学校（6組）

校長名 本杉 貴保 副校長 相川 直綱 所在地 高松1丁目24番地1号

学級数・在籍生徒数（令和7年4月現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
3	男	2	3	10	15
	女	0	2	6	8
	計	2	5	16	23

不惜精進 ～自主・勤勉・共生～

教育目標

「将来に向けての自立を図るために、社会適応能力を身につけ、自己実現を図る。」

基本方針

- ① 生徒一人一人が自ら考え主体的に活動ができるよう、基本的な生活習慣の定着を図り、社会的自立の基礎としての生活力を育成する。
- ② 社会の変化に対応し、自らすすんで学ぶ姿勢と問題解のための基礎的知識、技能、応用力を育成する。
- ③ 自らの思いや考えを言語や文字で表現し、他者に正確に伝えられる力を育成する。
- ④ 豊かな心情、健康な身体、健全な社会適応能力を育成する。
- ⑤ 自己有用感を高めるため、多くの成功体験を味わわせ、努力することの尊さおよび楽しさを実感させる。
- ⑥ 目的意識をもたせるため、保護者・本人との面談を通して、個別指導計画を作成する。

指導の重点

- ① 言語活動の活発化
- ② 他者理解を含むコミュニケーション力の育成
- ③ 好ましい基本的生活習慣の定着
- ④ 生涯を通じた健康的な体力
- ⑤ 主体的に生きる力の育成

これらの目標を達成するために、各教科や行事等で年間を通して繰り返し学習します。

各教科の活動形態

国語	3グループ	（作文発表、スピーチ活動、生徒の実態に応じた基礎学習）
数学	3グループ	（生活に即した四則計算など）
社会	2グループ	（地理、歴史、公民分野の学習）
理科	2グループ	（身近な科学的事象の学習）
英語	2グループ	（会話表現、英文法、簡単な単語の学習など）
家庭	3グループ	（作品作り、栄養、調理、裁縫など）
体育	一斉授業	（体力の向上、生涯スポーツへの取り組み）
美術	3グループ	（デザイン、絵画、アート作品など）
作業	3グループ	（リサイクル、PC操作など）
音楽	一斉授業	（歌唱を中心とした表現活動など）

音楽・美術は、主に教科専用の教室で学習をしています。
また、各専門委員会や各学年の校外学習、学年集会や学年活動に参加し、通常の学級の生徒と共に活動する機会を設定しています。



光が丘第三中学校（F 組）

校長 榮田 良晃

副校長 河合 仁

所在地 光が丘3-2-1

学級数・在籍生徒数（令和7年4月現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
7	男	16	10	13	39
	女	8	2	3	13
	計	24	12	16	52

一人一人が輝ける学級をめざして

学習



F組では、将来、自立した生活ができるように実生活に根ざした学習をしています。

国語と数学は、課題別のグループ編成で、個々の課題に取り組んでいます。体育や音楽は一斉授業を行う時間があります。

主な行事



5月の**運動会**では、「台風の目」やクラス対抗リレーに参加しました。大縄跳びにも挑戦しました。



11月の**八校合同文化発表会**では、合唱「夢の世界を」、「明日へ」、合奏はトーンチャイムで「美女と野獣」を披露しました。



3月の卒業式の前に、F組の**お別れ会**があります。お礼の言葉や感謝の気持ちを心を込めて伝えます。



2月の**スキー移動教室**では、プロのインストラクターさんから教えてもらいました。

部活動紹介



レクレーション部は、昨年度から通常学級の生徒も参加できるようになりました。



ものづくり部では、生徒の希望を取り入れて様々な制作を行っています。



球技部では、バドミントンやバスケットボールなどいろいろな球技に取り組んでいます。



園芸部では、畑でたくさんの野菜を育て、収穫し家庭に持ち帰っています。

F組独自の部活動で、月曜日と木曜日の放課後（15:45～16:30）に行っています。

石神井中学校（I組）（あいぐみ）

校長 山田 美鈴

副校長 美濃谷 ひろみ

所在地 石神井台1-32-1

在籍生徒数 (令和7年4月現在)

学級数		1年	2年	3年	計
6学級	男子	9	12	13	34
	女子	3	4	6	13
	計	12	16	19	47

西武池袋線石神井公園駅から徒歩15分！
富士街道をまっすぐ進んできてくださいね！

(アクセス)



多くの仲間と協力・切磋琢磨する環境の中で！

☆石神井中学校I組の生徒たちは、次の3つを学校生活で頑張っています！☆

◎何事にも一生懸命！（学習も！行事も！）

◎支えられる側から支える側への心の成長と自立！

◎挨拶・笑顔での仲間づくり！（毎日優しい声掛け）

学習面では

☆習熟度別授業展開を実施

進路指導を充実させ、将来に希望がもてる学習体制の充実

生徒の成長段階に合わせた教材を取り入れ取り組むことで、やる気とできた喜びを感じていくことができます。「自分もできる！」という自己肯定感を芽生えさせ、更に挑戦していく向上心を育成しています。また、生徒個々に適した進路指導を実践していくことで、将来に希望をもち、自己実現に向かって努力できる学習環境を大切にしています。

生活面では

先輩が後輩をサポートする体制が整っています。学校生活を一緒に楽しく、そして規律ある行動ができるように上級生が模範となってくれています。また、支えられる側から支える側への意識改革を行うために、今の自分にできることを実践し、自己肯定感を高めていく指導をしています。更に、身だしなみを意識して清潔感を大切に生活の心掛け、明るく元気な挨拶がお互いにできる学校生活を目指しています。

南が丘中学校（E組）

校長 みやた けんじ 宮田 健史 副校長 まさか あきこ 眞坂 明子 所在地 南田中4-8-23

学級数・在籍生徒数（令和7年 4月現在）

学級数		1年	2年	3年	計
2学級	男子	8	2	2	12
	女子	2	1	0	3
	計	10	3	2	15



～アットホームな環境で社会的自立を目指す～

暫定

充実した学習環境

- 4つの教室に加え、広い校庭、2つの体育館、畑、花壇、さらに近接するスーパー、図書館等で授業を行います。
- 生徒15人に対して、3人の教員、3人の学校生活支援員、3人の時間講師で生徒を手厚く支援していきます。
- 授業により、グループ別学習を実施しています。
3グループ…国語、数学（習熟度別）
2グループ…職業、家庭、
 全体授業…体育、音楽、作業、美術、理科、社会、生活单元、情報



規律ある学校生活

- 学校全体で取り組む、あじみこし（あ 挨拶、じ 時間を守る、み 身だしなみを整える、こ 言葉遣い・心遣い、し 姿勢）の徹底。基本的なことだからこそ、力を入れて指導しています。
- 上級生から下級生へのサポート体制ができています。みんなが楽しく、安全に学校生活を送るために教員だけではなく、上級生たちが模範となっています。

特色のある教育活動

- ビジョントレーニングの実施。
 ビジョントレーニングは、眼の機能を高めるトレーニングで週3回、朝の学習時間に取り組んでいます。文章の読み飛ばしや文字を正確に書き写せないといった課題、運動面では演技などで模範の通りに体を動かすことができないといった課題への効果が期待されます。
- 施設を利用した学習。
 近隣のスーパーマーケットを利用した買物学習、郵便局を利用した貯金学習、練馬区立図書館を利用し、公共施設でのマナーなど様々な施設に行き学習しています。

谷原中学校（F組）

校長 鈴木裕行

副校長 小林正樹

所在地 谷原 4 - 10 - 5

学級数・在籍生徒数（令和 7 年 4 月現在）

学級数	生徒数	1 年	2 年	3 年	計
4	男	6	7	6	19
	女	2	4	2	8
	計	8	11	8	27

谷原中学校 F組 特別支援学級

谷原中学校 F組は、次の四つの柱で教育活動を行っています。

1 自立の支援

生徒たちが将来、自立した社会生活を送れるように、“自分のことは自分でする”ことを呼びかけています。また、同時に仲間と協力して、活動することの大切さも経験を通して学べるように指導しています。

2 からだづくり

自らの健康に関心を持ち、健康管理が自分で行えるよう指導しています。睡眠、運動に加え、食育指導も併せて行い、強くてしなやかな身体づくりを目指していきます。

3 基礎学力・技術の充実

まずは、読むことや書くことを中心に基礎学力の充実を図っていきます。さらに、はさみ、のり、穴あけパンチ等の基本的な作業能力を身に付けさせて、各教科の学習活動で応用させながら、自立のための基本技能の伸長を図ります。

4 意欲を育てる

学校生活における様々なことに自分から積極的にに関わり、“自分でできた”という経験から自信を付けて、次の意欲につなげていけるように指導しています。

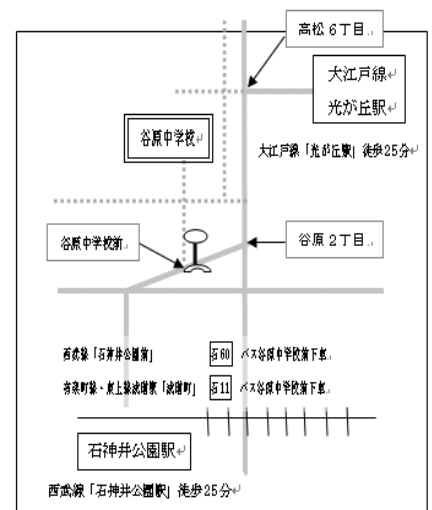
また、通常の学級の生徒と一緒に、生徒会の委員会活動や学校行事の実行委員会にも所属して、リーダー性の向上にも取り組みます。

今年度、生徒が話し合って決めた 「学級目標」

「計画性、コミュニケーション、継続力」

計画性をもって準備を行い、友達との会話や話し合いを通して、全員が理解を深めることを大切にします。

そして、行動や活動には、継続の心をもって次の世代までつないでいくという意味を込めてつくりました。



大泉中学校（10組）

校長 おおつき とおる 大槻 亨

副校長 ほんだ としゆき 本田 敏行

所在地 東大泉 4-27-35

学級数・在籍生徒数（令和7年4月現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
8	男	15	13	15	43
	女	6	5	6	17
	計	21	18	21	60



10組の目標

身のまわりのことをできる人になろう
 みんなと仲良くできる人になろう
 根気よく努力する人になろう
 仕事のできる人になろう

1 基本的な考え

近い将来の社会的自立に向け、「仲間と集う楽しさ」「学ぶ喜び」を大切にした学習環境作りを目指し取り組んでいます。多人数の学級の良さを生かしてダイナミックに展開する学級全体の授業と、障害の多様化や発達段階に合わせた少人数のグループ別学習と学年別の学習を組み合わせた授業を実施しています。また、障害に関しては、経験にとらわれず、医療機関や関連する諸機関との連携を図り、学校・家庭を含めた三者の連携を図りながら、日々の指導に生かしていきます。

2 具体的な指導内容

（1）少人数グループによる指導

生徒の特性を考慮した活動を行うために、個々の特性に対応した少人数グループによる指導を中心に、授業クラスを編成しています。

- ・国語、数学 7グループの少人数
- ・英語、社会、理科、パソコン、職業、作業、美術 3～4グループ
- ・音楽、体育 2グループ
- ・日常生活 6つの縦割りグループ
- ・道徳、総合、学活⇒ 学年

10組への入学を希望される方は、学校選択制度の申し込みを行わないようお願いいたします。

（2）広い空間を使用した授業展開

10組の施設や設備、校内の特別教室を利用して、より機能的に教育活動を展開しています。

（3）コミュニケーションを大切にした指導

一人一人の生徒に適した社会参加を考慮し、コミュニケーションを高める指導を基盤にした教育課程を展開しています。自立活動と校外学習では、班活動を中心に社会生活の体験を重視した様々な活動を行っています。

（4）通常の学級との交流

運動会や合唱コンクール等の学校行事、校外学習や修学旅行など一緒に活動しています。生徒会活動にも委員を選出し、積極的に参加しています。

3 進路先（令和6年度） 進学11名

- 都立特別支援学校 : 7名
- 都立高等学校 : 3名
- 私立高等学校 : 1名

